

「注意事項等情報」改訂のお知らせ

持続性 Ca 拮抗剤
日本薬局方 アゼルニジピン錠
処方箋医薬品
アゼルニジピン錠8mg「BMD」
アゼルニジピン錠16mg「BMD」
AZELNIDIPINE TABLETS

2026 年 8 月



この度、下記のとおり「注意事項等情報」を改訂いたしました。
今後のご使用に際しましては、改訂内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

記

■改訂内容

(_____ : 削除箇所 _____ : 追記箇所)

改訂前	改訂後
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1～2.2 （略） 2.3 イトラコナゾール、ミコナゾール（経口剤、注射剤、口腔用剤）、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ポリコナゾール、ボサコナゾール、HIVプロテアーゼ阻害剤（リトナビル含有製剤、ダルナビル含有製剤）、コビススタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビルフマル酸、クラリスロマイシン、セリチニブを投与中の患者 [10. 1、16. 7. 1 参照]	2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1～2.2 （略） 2.3 イトラコナゾール、ミコナゾール（経口剤、注射剤、口腔用剤）、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ポリコナゾール、ボサコナゾール、HIVプロテアーゼ阻害剤（リトナビル含有製剤、ダルナビル含有製剤）、コビススタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビルフマル酸、クラリスロマイシン、セリチニブ、<u>ツカチニブ エタノール付加物、ロナファルニブ</u>を投与中の患者 [10. 1、16. 7. 1 参照]

改訂前			改訂後		
10. 相互作用 (略)			10. 相互作用 (略)		
10.1 併用禁忌（併用しないこと）			10.1 併用禁忌（併用しないこと）		
薬剤名等	臨床症状・ 措置方法	機序・危険 因子	薬剤名等	臨床症状・ 措置方法	機序・危険 因子
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
HIV プロテアーゼ阻害 剤 リトナビル含有製 剤（ノービア、カ レトラ）、ダルナビ ル含有製剤（プリ ジスタ、プレジコ ビックス、シムツ ーザ） コビシスタット含有 製剤 ゲンボイヤ、プレ ジコビックス、シ ムツーザ ニルマトレルビル・ リトナビル パキロビッド エンシトレルビル フ マル酸 ゾコーバ クラリスロマイシン クラリス、クラリ シッド セリチニブ ジカディア [2.3 参照]	本剤の作用 が増強され るおそれがある。	これらの薬 剤が CYP3A4 を阻害し、 本剤のクリ アランスが 低下すると 考えられ る。	HIV プロテアーゼ阻害 剤 リトナビル含有製 剤（ノービア、カ レトラ）、ダルナビ ル含有製剤（プリ ジスタ、プレジコ ビックス、シムツ ーザ） コビシスタット含有 製剤 ゲンボイヤ、プレ ジコビックス、シ ムツーザ ニルマトレルビル・ リトナビル パキロビッド エンシトレルビル フ マル酸 ゾコーバ クラリスロマイシン クラリス、クラリ シッド セリチニブ ジカディア ツカチニブ エタノー ル付加物 ツカイザ ロナファルニブ ゾキンヴィ [2.3 参照]	本剤の作用 が増強され るおそれがある。	これらの薬 剤が CYP3A4 を阻害し、 本剤のクリ アランスが 低下すると 考えられ る。
(略)			(略)		

■改訂理由

- 相互作用相手薬との整合

- DSU（医薬品安全対策情報）No. 348 (2026 年 9 月発行予定)
- 改訂後の電子添文につきましては、以下のホームページに掲載されますので、ご参照ください。
 - ・ 株式会社バイオメディクス 医療関係者向けサイト (<https://biomedix.co.jp/medical/>)
 - ・ 医薬品医療機器総合機構ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/>)
- 添付文書閲覧アプリ「添文ナビ」を使用して、以下の GS1 コードを読み取ることで電子添文をご覧いただけます。



(01)14987809160117